

セシウム、ダイオキシン

含有土壌同時処理

ティーエスピー

広島市に本社を置き、太陽光ビジネスなど環境事業を手掛けるティーエスピー(082・253・0528)は先月31日、セシウムや重金属類、ダイオキシン類に汚染された土壌・焼却灰を同一設備で処理できる技術を発表した。同社では世界初のオンリーワン技術としている。

処理は、セシウム、重金属、ダイオキシンに汚染された土壌や焼却灰を

抽出塔に入れ、各有害物質を処理するもの。セシウムはセシウムだけを吸着する特殊な布にしみこませて貯蔵。重金属は薬品添加で重金属のみ取り出して貯蔵。ダイオキシン類は国内に生息し、高いダイオキシン分解能力を持つ分解菌を投入することで分解する。

同社によると、セシウムはこの処理により当初の100分の1に減少。ダイオキシン類は菌を加

えると、処理前100%に対し、処理後は埋め立ての必要のない5〜6%まで毒性が低下するとしている。